

THEインパクトランキング2024 総合ランキングで世界301-400位（6年連続国内公立大学1位）

2024年6月にイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education（THE）」が発表したTHEインパクトランキング2024で、本学は総合ランキングで301-400位、国内同率14位（6年連続国内公立大学1位）にランクインしました。

このランキングは国連が掲げる「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals（SDGs）」に対して、大学がいかに取り組み、社会に影響を与えているかを可視化したランキングです。

第6回となる今回は、総合ランキングに1,963大学（前年は1,591大学）がランク付けされました。

SDG別のランキングでは、SDG3「すべての人に健康と福祉を」において世界同率85位、国内8位、SDG12「つくる責任つかう責任」において世界同率201-300位、国内同率9位となるなど、高い評価を受けました。



SDGsセンターリーフレットを更新しました！

SDGsセンターは学内・学外と連携し、本学の有する教育、研究成果等の資源を活用し、SDGs達成に向けた活動の推進を目的として、2021年5月に設立され、3年が経過しました。

設立当初に作成した、当センターの概要や本学のSDGs達成に向けた活動を紹介するためのリーフレットを更新しました。

センターリーフレットは、SDGsセンターWEBサイトに掲載しておりますので、下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/center/>

今後もSDGsセンターでは、SDGsの達成に向けた活動の推進や、本学の様々な取り組みを継続して広く情報発信をまいります。



SDGs関連イベントにブース出展します！

8月に以下のSDGs関連イベントが開催され、本学の学生や教員と共同で発表、あるいはブース出展します。

①SDGs将来世代創造フォーラム2024

主催：アサヒ飲料株式会社 中部北陸本部
日時：8月21日（水）
会場：吹上ホール
出展者：人文社会学部 曾我ゼミ
サステナカレッジ*



SDGs将来世代創造フォーラム2023でのワークショップの様子

②中日SDGsフェア

主催：中日新聞社
日時：8月24日（土）
会場：ウインクあいち 7F展示場
発表・出展者：medicalHUB
サステナカレッジ*



中日SDGsフェア2023での学生プレゼン

*サステナカレッジはSDGsアンバサダーに登録している学生の有志のサークルです。



コラムの第5回は、本学の「医療人育成」に目を向けてみたいと思います。THEインパクトランキングのSDG3（健康と福祉分野）の結果にも表れている通り、本学は医療系の研究分野や附属病院群を活かし、社会に貢献していますが、その担い手を育成することも重要な役割のひとつです。本学の医療人育成に関するトピックをご紹介します。

ー高い評価を誇る、初期臨床研修医の研修プログラム

名市大病院では毎年、臨床研修医に対する初期研修プログラムを実施しており、ここ2年間の採用者数は定員100%を達成しています。採用者の決定は研修医・病院のお互いの希望を踏まえた上で全国一律のシステムによって決定される仕組み（マッチングシステム）となっており、全国の大学病院で研修希望者が減少している中、定員充足率100%を達成していることは快挙です。

同じく研修医の受け入れを行っている東部・西部医療センターでもフルマッチを達成しており、大学病院群として取り組んでいる初期研修プログラムは高い評価を受けていると言えます。



総合研修センター教員と初期臨床研修医の記念撮影



名市大病院

名古屋市長官立大学病院総合研修センター
<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html>

ー医療系学生と地域医療や医療者を繋ぐ「PICo Project」

名市大の医療系学部にはカリキュラムの枠を超えて学びたいと望む多くの学生がいます。また、名市大附属病院群や関連施設にはロールモデルとなる医療者がたくさんいます。こうした学生と医療者を教育プログラムで結ぶプロジェクトが「PICo Project」です。



medicalHUBの学生

★「PICo」とは…？

Passion（熱意）・Innovation（革新）・Co-creation（共創）の頭文字から

「PICo Project」でプログラム開発やシステム運営を担うのは名市大の学生団体「medicalHUB」で、医療系学生と医療者、教育施設の三者を結ぶための役割を果たしています。今年は医学、看護、人文社会学部の23名が参加しています。

「PICo Project」は様々なプログラムをWeb上に一元化して発信しており、医療系学生や高校生は希望のプログラムをワンクリックで応募できます。参加者の感想も一元化されてプログラムの改善に活かされます。2024年には14プログラムへのべ61名の応募がありました。

より良い学びを得た学生たちが、将来医療従事者として活躍することで、より良い医療を提供することができると考えます。

8月24日開催の中日SDGsフェアで、medicalHUBの学生が活動内容をプレゼン発表及び出展ブースで紹介しますので、ぜひお越しください！



medicalHUB Instagram

〔medicalHUB（PICo Project）ウェブサイト：<https://medicalhub-aichi.jp/>〕



SDGsセンター長
林 秀敏 先生

『医療人の育成』は、我々が住む地域から広く我が国、そして世界に至るまで、これからの「持続可能」で高度かつ安心できる医療や福祉を遂行、発展させるため、本学の最も重要な使命のひとつです。幅広い知識と深い専門性、広い視野と高い倫理観、そして臨床研究能力の涵養を進め、他職種と連帯し、プロフェッショナルな医療人を育成することが求められています。

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
（企画課内）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
 Tel : 052-853-8806
 Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

